本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、≪香川県専修学校各種学校連合会≫が実施した令和7年度「専修学校の国際化推進事業」の成果物です。

4 構成機関・構成員等 （機関として本事業に参画する学校・企業・団体等）

（1）教育機関

	名称	役割等	都道府県名
1	専門学校穴吹コンピュータカレッジ	留学生の受入・教育・就職サポート	香川県
2	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	留学生の受入・教育・就職サポート	香川県
3	専門学校穴吹工科カレッジ	留学生の受入・教育・就職サポート	香川県
4	専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジ	留学生の受入・教育・就職サポート	香川県
5	吉田愛復職専門学校	留学生の受入・教育・就職サポート	香川県
6	四国総合ビジネス専門学校	留学生の受入・教育・就職サポート	香川県
7	キッス調理技術専門学校	留学生の受入・教育・就職サポート	香川県
8	四国学院大学専門学校	留学生の受入・教育・就職サポート	香川県

※「役割等」においては、同一の役割を複数の機関で分担する場合、主担当となる機関の同欄に「◎」を記載すること（以下同じ）

※ 行が足りない場合は適宜追加して記載すること（以下同じ）

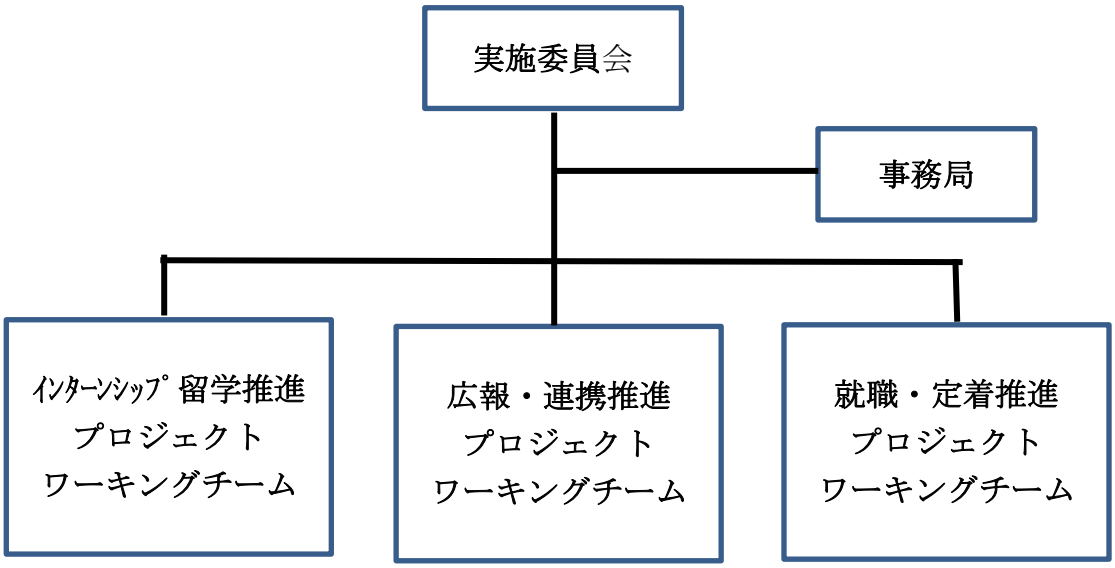
（2）企業・団体

	名称	役割等	都道府県名
1	株式会社百十四銀行	留学生の就職・インターンシップ促進協力	香川県
2	高松商工会議所	留学生の就職・インターンシップ促進協力	香川県
3	一般社団法人香川経済同友会	留学生の就職・インターンシップ促進協力	香川県
4	香川県行政書士会	留学生の就職促進協力	香川県
5	穴吹エンタープライズ株式会社	海外インターンシップ受け入れ機関	香川県

（3）行政機関・その他

	名称	役割等	都道府県名
1	香川県　総務部知事公室国際課	留学生の受入促進	香川県
2	香川県　商工労働部労働政策課	留学生の受入促進	香川県
3	独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）香川事務所	海外教育機関の開拓協力	香川県
4	独立行政法人国際協力機構　JICA四国	海外教育機関の開拓協力	香川県
5	香川労働局 職業安定部職業安定課	留学生の受入促進	香川県

（4）事業の実施体制



〇実施委員会
本事業の方針及び戦略決定、予算執行管理等を担当する。
〇インターンシップ留学プロジェクトワーキングチーム
海外インターンシップから留学受入れまでのプログラムと日本語教育支援を担当する
〇広報・連携推進プロジェクト
各ターゲットエリアにおける日本の職業教育の普及、香川県の魅力 PR、現地でのイベント開催についての調整を担当する。また、連携機関との国内外の調整を担当する。
〇雇用・定着推進プロジェクト
受け入れ態勢構築セミナーの企画、インターンシップから就労に繋げる仕組みの開発、香川県内雇用行政機関、経済界、および香川県行政書士会との連携を担当する。
〇事務局
事務管理、進捗管理及び連絡調整を担当する。

（5）各機関の役割・実際に得られた協力事項について

〇教育機関
・在外教育機関での留学・インターンシップ説明会の実施に伴う協力
・香川県内の専門学校に在籍している留学生のインターンシップ実施に伴う協力
・企業向け外国人材採用セミナーの実施に伴う協力
・日本語教材の実証に伴う協力
・PR ビデオ制作に伴う協力

〇企業・団体
・香川県内企業に対する留学生のインターンシップや就職先としての受入れ促進。
・在留資格変更手続きのサポート、助言（企業向け）。

〇行政機関・その他
海外教育機関開拓のためのサポート
在外教育機関での説明会実施に伴う協力

５　事業の内容等
（1）事業の趣旨・目的等について

香川県の在留外国人は総数、留学生数ともに四国 4 県にあっては最も多く、これは、人口流出県である香川県にあって外国人生活人口の増加は喜ばしいことであり、同時に県内の人口減少による労働力不足を外国人に求めざるを得ないことを現実問題として、将来を見据えた専門学校がこの解消策に取り組んできた結果といえる。

コロナ禍により海外との往来が停止していた 2021 年度に開始した「専修学校留学生の学びの支援推進事業」では、オンラインでの教育交流等を経て、海外教育機関との強固な関係を築くことができ、その後、2022 年 4 月よりそれらの事業により母国で学習を終えた留学生たちが次々と入国した。円安等の不安材料がある中でも日本へ、香川への留学への関心は高く、また地元経済の理解・支援は広がっており、「香川で学び、香川で就労する」という地方の専門教育の目的は留学生の学びの支援においても定着を始めている。来日前教育面での連携、来日後は日本の職業教育価値を踏まえた上で、香川県で学んだ外国人留学生が就労ビザを取得し、定着できることを目的とする。一貫した戦略的な受入れ体制を整備し、地方都市香川における若年人材不足の解消と健全な事業継承に寄与する。

（2）当該地域において取組を進める意義

ⅰ）外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット国（地域）

ベトナム（タイ、ラオス、カンボジア含む）	**スリランカ**	**フィリピン**

ⅱ）外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット分野

介護福祉分野	**自動車整備分野**	**ホテル・観光分野**	**電気工事士分野**

【ターゲット国(地域)・分野と本県連合会との関わり】

■ベトナム（継続）

＜背景＞香川県がベトナムハイフォン市と環境土木・保健医療分野で協同プロジェクト事業実施。この関係から本事業の開始当初（H29 年度）より教育分野における連携を本事業にてすすめてきた。

<昨年までの事業実績>【提携7校】

引き続き、留学生受入れの拡大を目指す。また、ベトナムと教育的にも関係の深いインドシナ諸国（カンボジア・ラオス、タイ）も引き続いて関係構築を継続する。

■スリランカ（継続）

香川県の教育機関は在スリランカ日本大使館やスリランカ日本語教育協会と連携しながらスリランカの教育機関との関係を構築してきた。日本への留学希望者は近年増加傾向

にあり、自動車整備の分野の人気が高いため、今後、スリランカの技術系の教育機関と提携を結び、留学希望者の拡大を狙っていく。
〈昨年までの事業実績〉
R6年度の取り組みにより、在スリランカの教育機関3校と連携が可能になった。この3校を中心に留学希望者の拡大を目指す。

■フィリピン（継続）
国を挙げて介護人材を育成しており、英語も堪能なため、世界中でフィリピン人介護人材が活躍している。介護奨学金プログラムを利用して香川県の教育機関に留学したフィリピン人留学生は30名を超え、多くの卒業生達が香川県内の介護事業所で活躍している。介護福祉分野や英語が必要とされるホテル・観光分野での留学生受入が期待できる。
〈昨年までの事業実績〉
R6年度の取り組みにより、在フィリピンの教育機関2校と連携が可能になった。経済的に留学が難しい学生が多いので、インターンシップや奨学金プログラムを用いながら留学希望者の拡大を目指す。

（3）実施する取組の具体的内容

① 入学前

海外からの留学生受け入れのための海外インターンシップ制度の構築

。）

目的：
日本で学び、働くことを望む海外の若者や、外国人の採用を望む企業は多いが、学生にとって留学は金銭面での負担が重く、企業にとっても外国人採用のための受け入れ態勢整備の負担は重い。双方の負担を軽減するために、「留学・就労ビザでの就職」の前段階でインターンシップを導入する。来日前に日本語の教育支援を行い、スムーズなインターンシップに繋げる。学生には日本を好きになってもらい、日本の高い技術の習得の意欲を引き出した上で留学に繋げ、企業には受け入れ態勢の整備を促す。受け入れ企業と連携し、優秀なインターンシッフ生に対する奨学金プログラムを設立する。

事業予定：
①海外教育機関と「インターンシップからの留学」を見据えた提携の締結。
②学生向け説明会、受け入れ企業向け説明会の実施。
③インターンシップ生向けの来日前の日本語教育支援。
④海外教育機関関係者を香川県へ招聘し、インターンシップ環境と日本の教育環境を案内する。
⑤インターンシップの実施。インターンシップ中は香川県の教育機関での体験授業も実施する。
⑥インターンシップ修了者向け留学説明会の実施。

成果指標:
2年目(R7年度):インターンシップ生10名の受け入れ。
3年目(R8年度):インターンシップ生20名の受け入れ。
留学生3名の受け入れ(R7年度のインターンシップ修了生から)
4年目(R9年度):インターンシップ生30名の受け入れ。
留学生6名の受け入れ(R8年度のインターンシップ修了生から)

(750文字以内)

令和7年度実績

香川県に本社を置く穴吹エンタープライズ株式会社の県内ホテルにおいて、コンケン大学(タイ王国)から4名、銘傳大学(台湾)から 3 名、国立屏東大学(台湾)から 2 名、ダナン大学外国語大学(ベトナム)から 2 名、合計 11 名の海外学生を受け入れ、インターンシップを実施し、無事終了した。

【インターンシップ終了後(帰国後)の進路】
日本留学…0 名、日本で就職(予定者含む)…3 名
母国で就職…5 名、母国大学在学中…3 名

【所感:香川県専修学校各種学校連合会　村上　仁】
本事業により、日本語能力および専門性の高い海外大学生を香川県に受け入れることができた。参加学生はいずれも日本文化への関心および学習意欲が高く、インターンシップを通じて本県への理解と好意的評価を深めたうえで帰国した点は、大きな成果である。一方、当初計画では、インターンシップを契機として更なる学習意欲を喚起し、本県への留学へ接続することを目標としていた。しかしながら、参加学生は既に高い専門性と明確な進路意識を有しており、直ちに本県への留学へ誘導するまでには至らなかった。ただし、終了後アンケートにおいては、「奨学金があれば留学を検討したい」との回答が 11 名中 10 名を占めており、経済的支援が進学判断に大きく影響する可能性が示唆された。今後は、企業奨学金プログラムの設立も視野に入れ、「インターンシップから留学への接続」という取組を継続する。また、参加学生に留学説明会等へ登壇してもらうなど、優秀層の体験を活用した広報施策も併せて実施し、波及効果を活かした学生募集へと展開していく。

【所感:穴吹エンタープライズ株式会社　AEG 管理本部　人事総務部　藤川　陽子】
本事業を通じて、日本語能力および専門性の高い海外大学生を受け入れることができたことは、企業にとって大きな成果である。参加学生はいずれも勤勉で学習意欲が高く、業務への適応力や吸収力にも優れており、既存社員にとっても良い刺激となった。また、社内イベントや地域活動にも積極的に参加し、帰国後も当社や本県の魅力を発信してくれるなど、企業ブランド向上の観点からも意義ある取組であった。
一方で、受け入れに際しては、住居や各種手続きに関する調整、生活支援体制の整備、OJT 担当者の確保など、企業側の人的・時間的負担が一定程度発生した。さらに、優秀な人材であっても、インターンシップと就業に対する認識の違いや本人の進路志向により、直ちに採用や定着へ結び付けることの難しさも認識した。

今後は、受け入れ体制の標準化・効率化を図るとともに、大学との連携強化や専修学校と協同し語学支援を含めた段階的な育成・マッチングの仕組みを構築し、将来的な採用につながる導線を明確化していきたい。また、当社の取組をモデルケースとして地域企業とも共有し、産学官が連携した持続的な高度外国人材の確保・定着スキームへと発展させたい。以上をもちまして、本事業を通じ得られた知見を今後の取組に活かし、地域の国際人材育成および留学・就労に結びつく持続的な受け入れ体制の構築に努めてまいる。

【インターンシップ学生一覧（予定者も含む）】

学生情報					インターンシップ情報					
No.	出身	大学	学部	入国時JLPT	状況	開始	終了	実施場所	内容	大学卒業後の進路
学生01	台湾	銘傳大学	応用日本語学系	N1	終了	2024年3月	2024年8月	リーガホテルゼスト高松	フロント業務	母国で就職
学生02	タイ	コンケン大学	人文社会科学部日本語専攻	N2	終了	2025年2月	2025年6月	高松国際ホテル	フロント業務	日本で就職
学生03	タイ	コンケン大学	人文社会科学部日本語専攻	N2	終了	2025年2月	2025年6月	高松国際ホテル	レストラン業務	母国で就職
学生04	タイ	コンケン大学	人文社会科学部日本語専攻	N1	終了	2025年2月	2025年6月	リーガホテルゼスト高松	レストラン業務	日本で就職
学生05	タイ	コンケン大学	人文社会科学部日本語専攻	N2	終了	2025年2月	2025年6月	リーガホテルゼスト高松	レストラン業務	母国で就職
学生06	台湾	銘傳大学	応用日本語学系	N1	終了	2025年3月	2025年8月	リーガホテルゼスト高松	フロント業務	母国で就職
学生07	台湾	銘傳大学	応用日本語学系	N1	終了	2025年3月	2025年8月	ロイヤルパークホテル高松	フロント業務	母国で就職
学生08	ベトナム	ダナン外国語大学	日本語・日本文化学科	N2	終了	2025年3月	2025年11月	高松パークホテル	フロント業務	母国大学在学中
学生09	ベトナム	ダナン外国語大学	日本語・日本文化学科	N2	終了	2025年3月	2025年11月	琴平パークホテル	フロント・レストラン業務	日本で就職
学生10	台湾	国立屏東大学	餐旅管理学系	－	終了	2025年8月	2026年1月	高松国際ホテル	調理補助業務	母国大学在学中
学生11	台湾	国立屏東大学	餐旅管理学系	－	終了	2025年8月	2026年1月	高松国際ホテル	調理補助業務	母国大学在学中
学生12	ベトナム	フォンドン大学			受入中	2025年8月		リーガホテルゼスト高松		
学生13	ベトナム	フォンドン大学			受入中	2025年8月		リーガホテルゼスト高松		
学生14	タイ	コンケン大学			受入中	2025年12月		ロイヤルパークホテル高松		
学生15	タイ	コンケン大学			受入中	2025年12月		高松国際ホテル		
学生16	タイ	コンケン大学			受入中	2025年12月		リーガホテルゼスト高松		
学生17	台湾	屏東科技大学			受入予定	2026年2月		高松国際ホテル		
学生18	台湾	屏東科技大学			受入予定	2026年2月		高松国際ホテル		
学生19	台湾	屏東科技大学			受入予定	2026年2月		ロイヤルパークホテル高松		
学生20	台湾	德明財経科技大学			受入予定	2026年1月		UDONnaHOTEL琴平		
学生21	ベトナム	ダナン外国語大学			受入予定	2026年2月		高松パークホテル		
学生22	ベトナム	ダナン外国語大学			受入予定	2026年2月		琴平パークホテル		
学生23	台湾	屏東科技大学			受入予定	2026年1月		ロイヤルパークホテル高松		
学生24	台湾	屏東科技大学			受入予定	2026年1月		高松国際ホテル		
学生25	台湾	屏東科技大学			受入予定	2026年1月		琴平パークホテル		

【インターンシップ学生の様子】

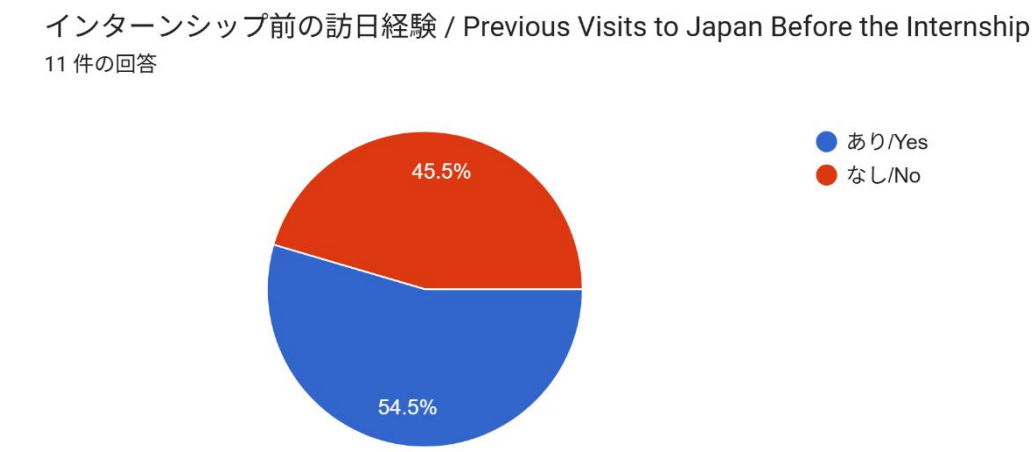


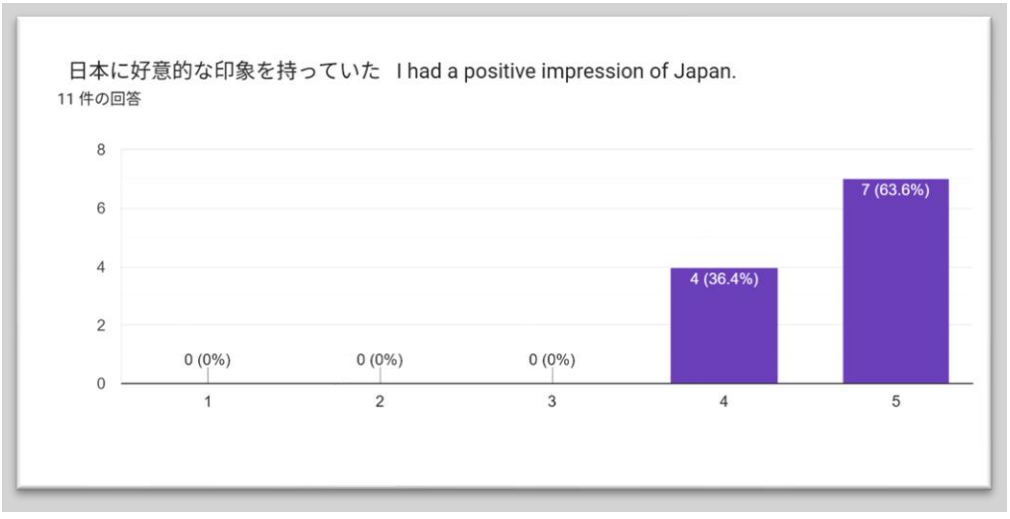




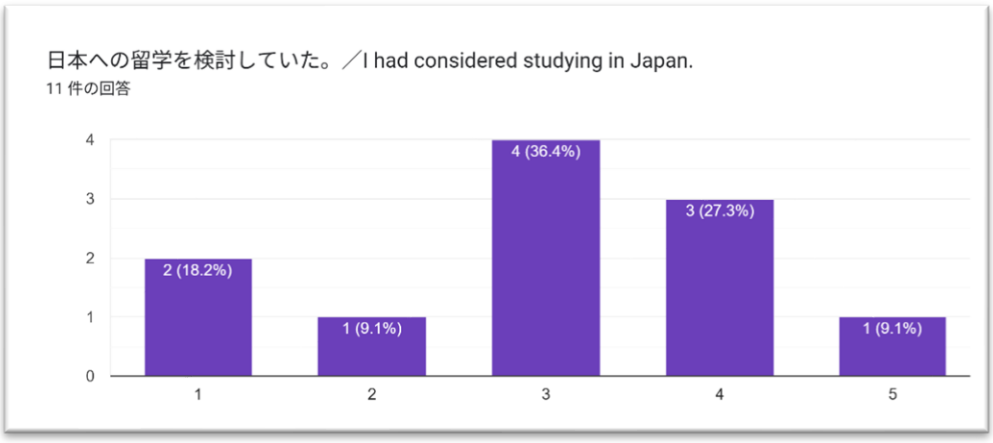


【インターンシップ終了後に学生たちに実施したアンケート結果】

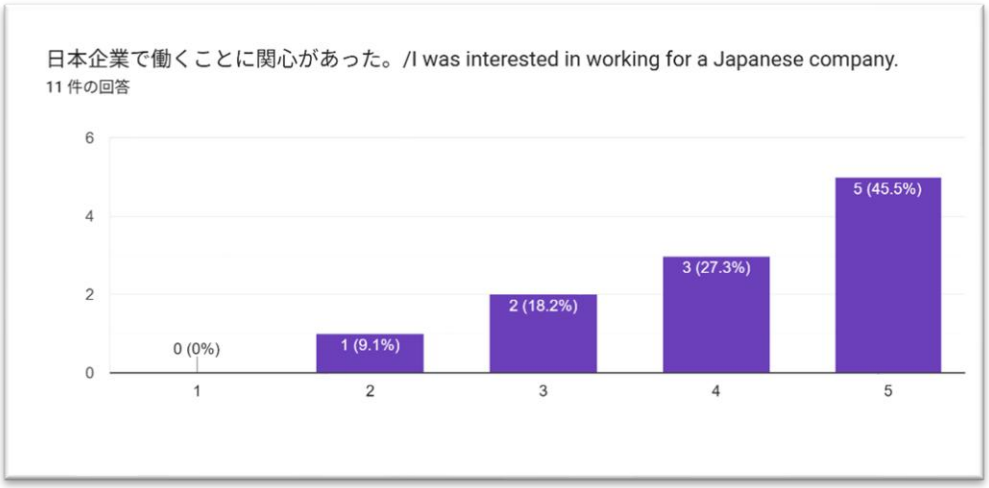




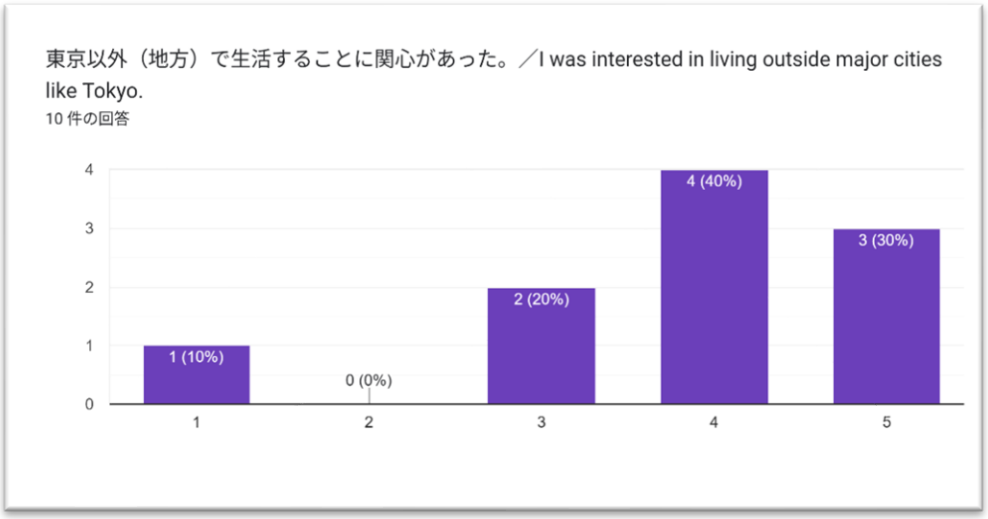
※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree 5＝強くそう思う/Strongly agree）



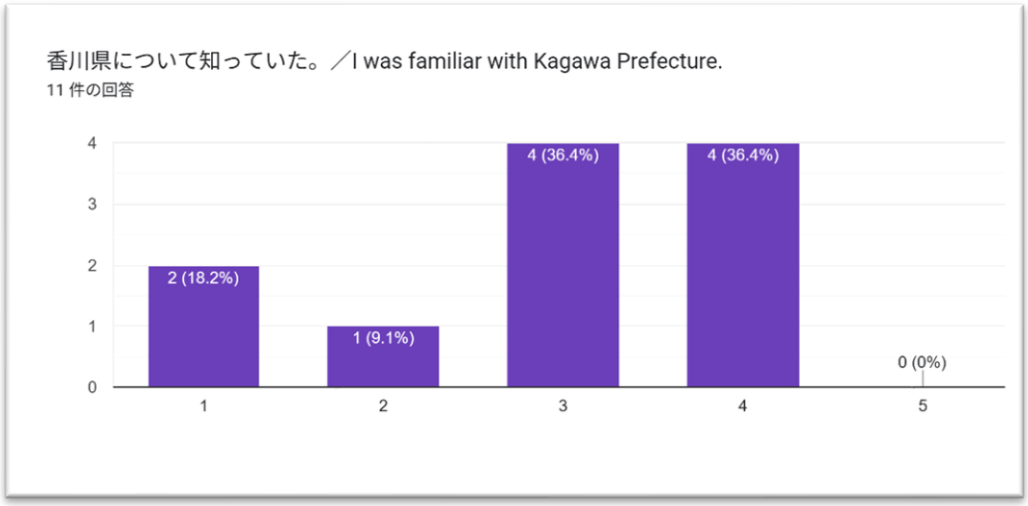
※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree 5＝強くそう思う/Strongly agree）



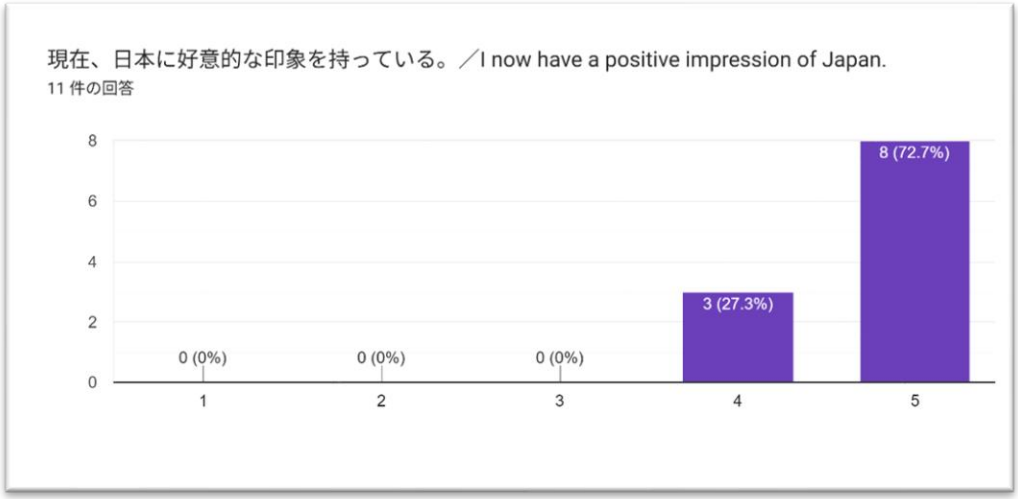
※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree 5＝強くそう思う/Strongly agree）



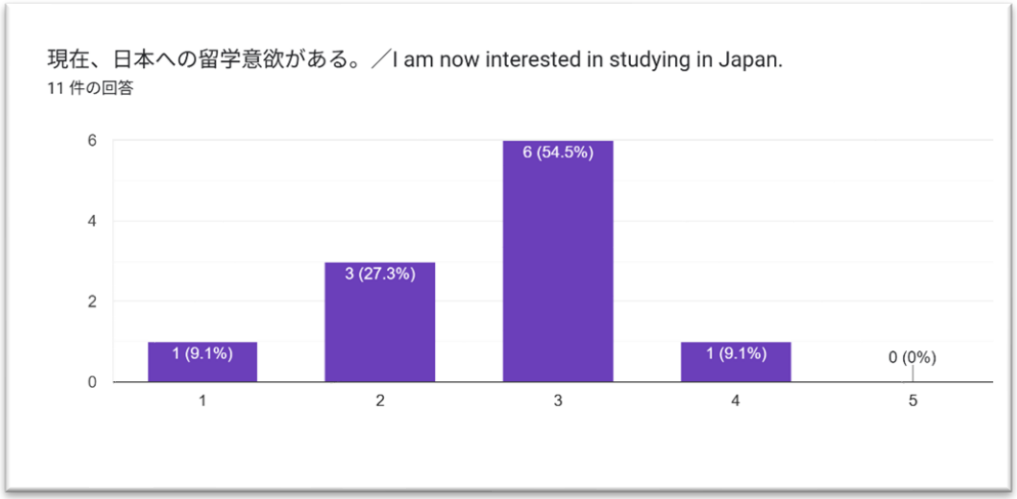
※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree 5＝強くそう思う/Strongly agree）



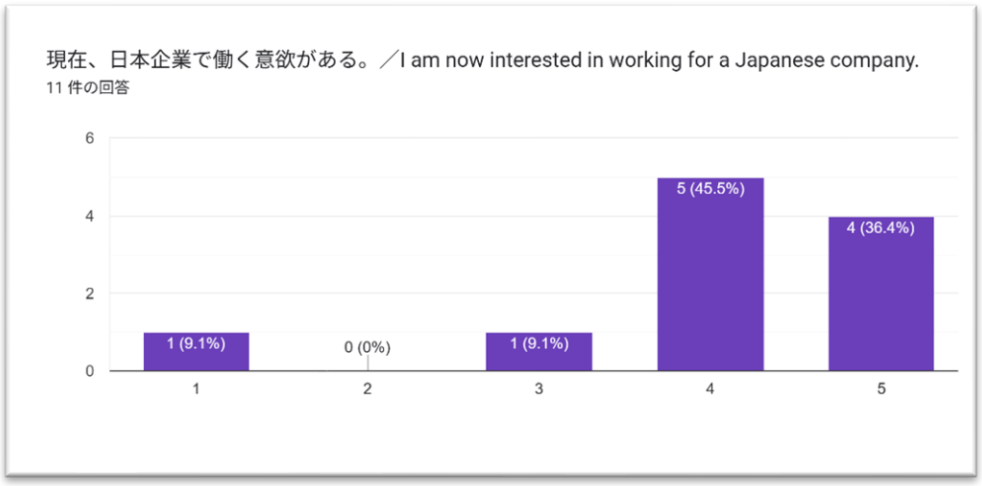
※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree　5＝強くそう思う/Strongly agree）



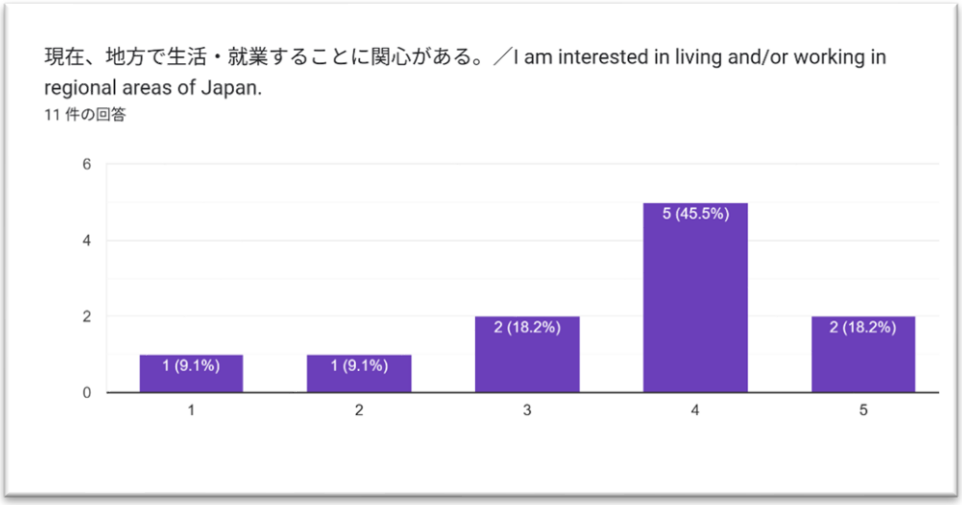
※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree　5＝強くそう思う/Strongly agree）



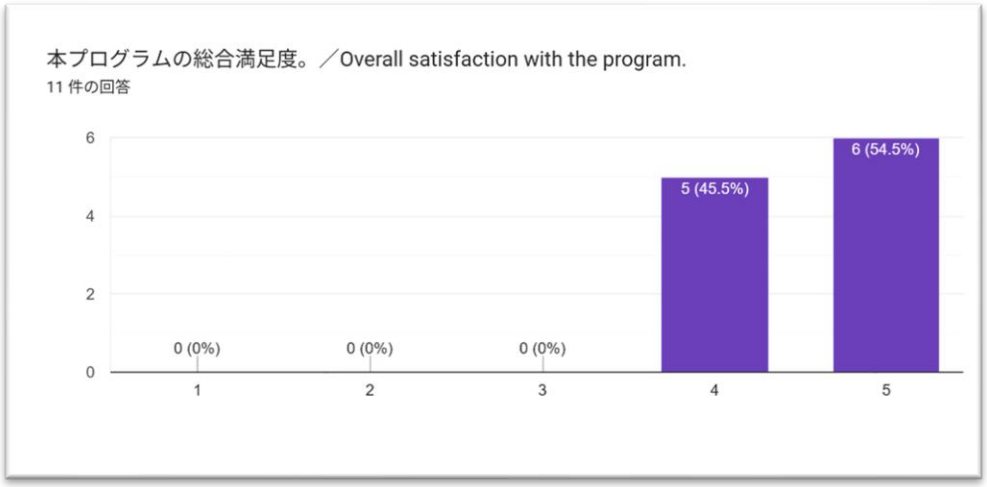
※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree　5＝強くそう思う/Strongly agree）



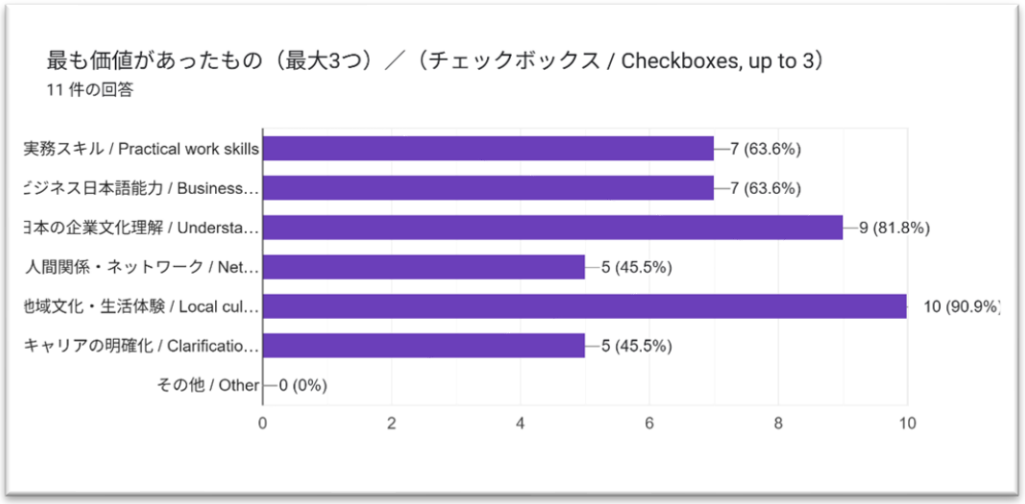
※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree　5＝強くそう思う/Strongly agree）

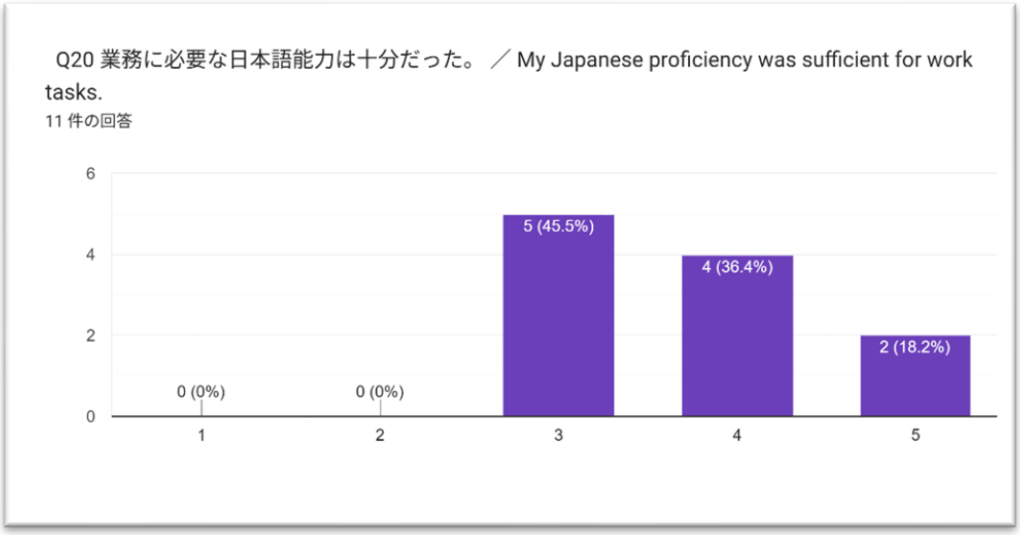


※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree　5＝強くそう思う/Strongly agree）

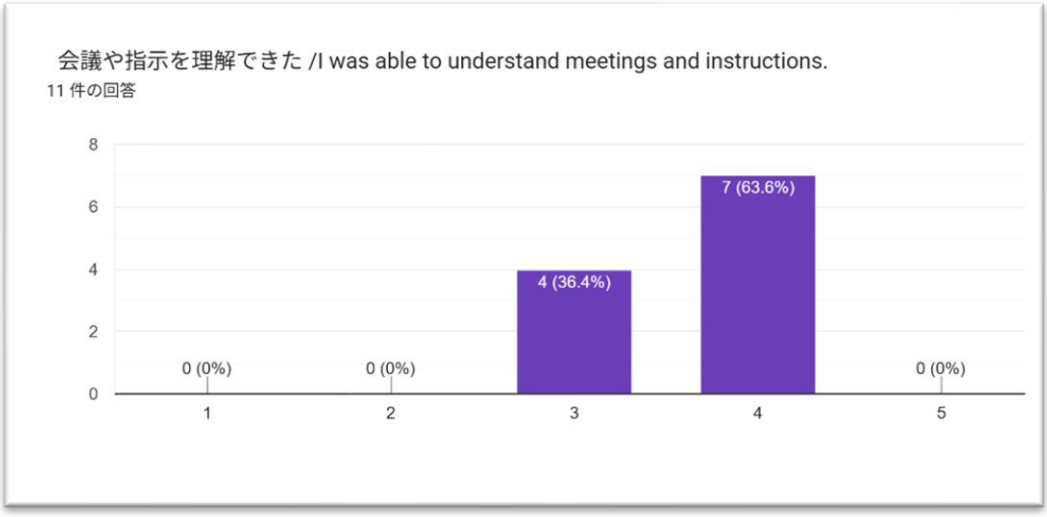


※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree　5＝強くそう思う/Strongly agree）

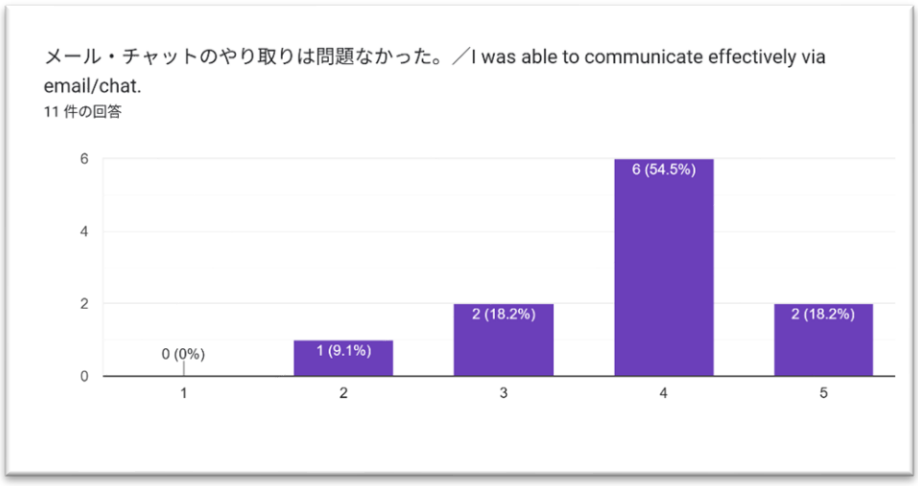




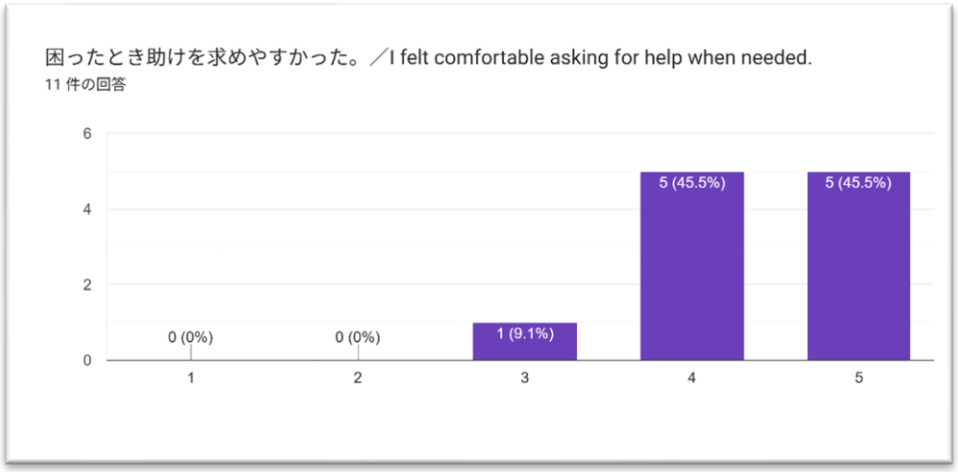
※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree 5＝強くそう思う/Strongly agree）



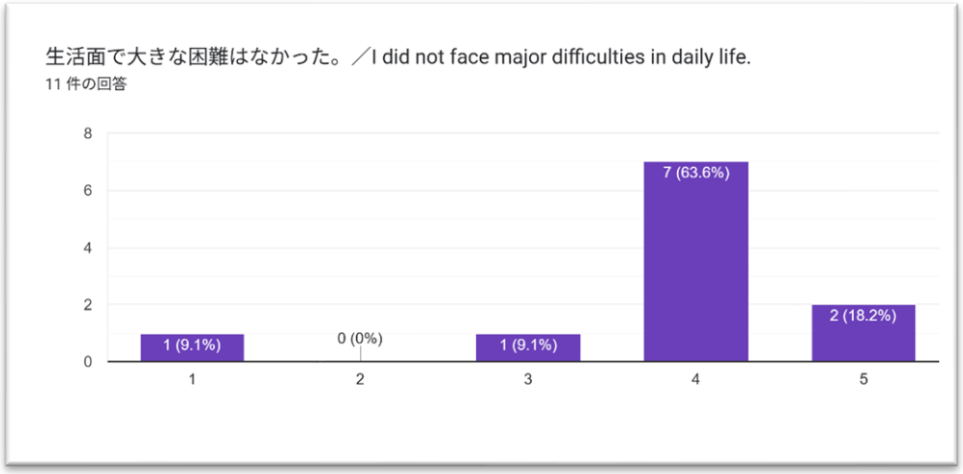
※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree 5＝強くそう思う/Strongly agree）



※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree　5＝強くそう思う/Strongly agree）



※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree　5＝強くそう思う/Strongly agree）



※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree　5＝強くそう思う/Strongly agree）

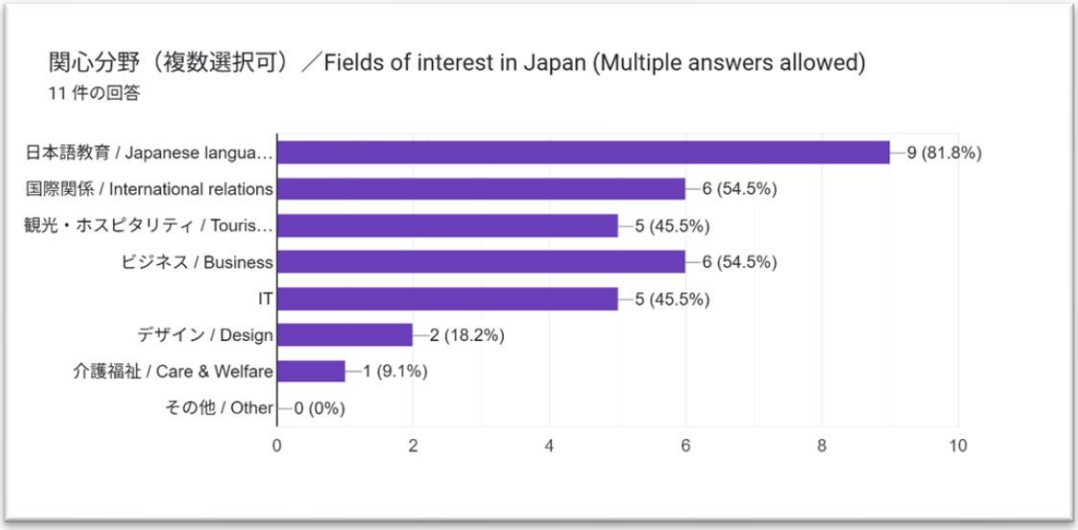
最も困ったこと。／What was the most challenging aspect? 8 件の回答

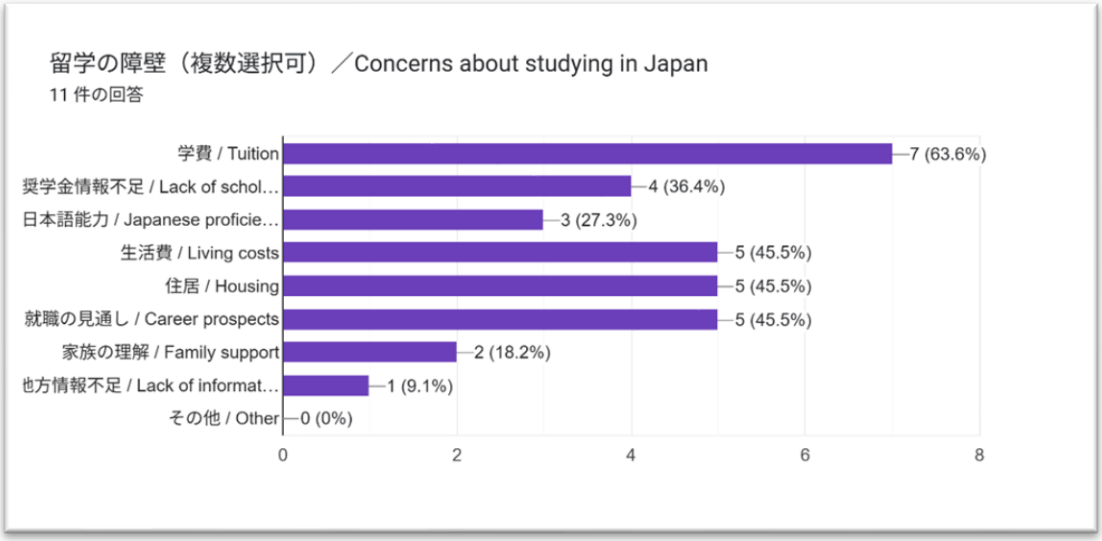
・方言
・最も困ったことは、靴に慣れること。最初の時足が痛くて困っていました。
・日本人の話すスピード
・なし
・日本に来たばかりの頃、気候がとても寒く、毎日電車で通勤し、仕事の 1 時間から 1 時間半前には家を出なければならなかったことです。 最初は寒さや生活リズムの違いに少しショックを受けましたが、一人で生活する中で、自立する力が身についたと感じています。 その経験を通して、精神的にも以前より成長できたと思います。
・日本に到着したばかりの時は、方言があまり聞き取れなかった、また、業務がちょっと忙しくて、気づかないうちにプレッシャーや緊張感を感じてしまって、失敗することを恐れることもあった。
・（生活面）ガス給湯機が古くなって、ガスを燃やすことによって発生する排気が部屋に戻ってくること
シフトが遅い時間まで入ることがあり、ちょっと大変でしたが、いい経験になりました。

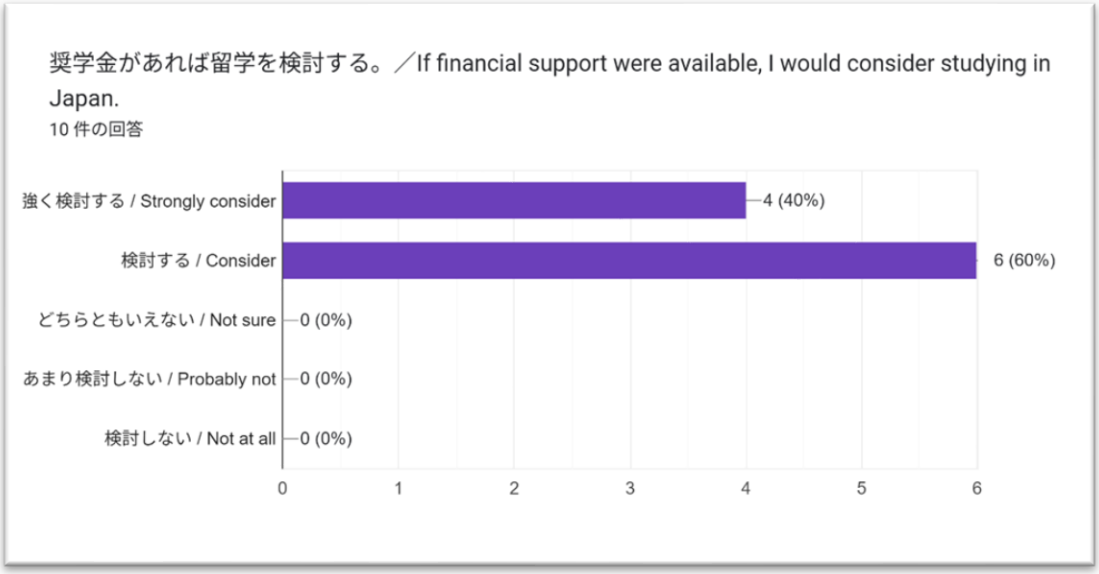
事前に知っておきたかったこと

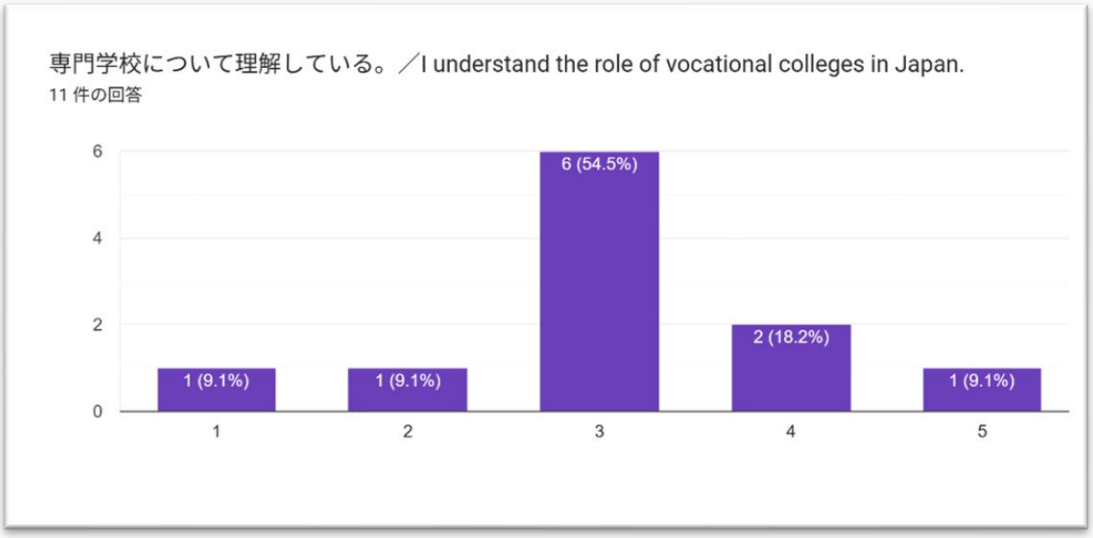
What do you wish you had known in advance?／（段落 / Paragraph） 6 件の回答

・マナーと生活上で必要なこと
・事前に知っておきたかったことは、職場の雰囲気やスタッフ間のコミュニケーションの取り方です。 文化の違いや仕事の進め方についてあらかじめ理解していれば、最初からもっとスムーズに対応できたと思います。
・なし
・日本に来る前は、言葉さえできれば大丈夫だと思っていました。 でも実際は、文化の違いや考え方の違いを理解することのほうが大切だと感じました。 もっと早くそれを知っていれば、最初は不安にならなかったと思います。
・方言や職場の雰囲気など。 自分にとっては最も大変だったのは最初の適応なので、事前に方言や業務内容、職場の働き方について知っておけば、よりスムーズに適応できると思います。
・給与から約 20%の所得税が源泉徴収されること。

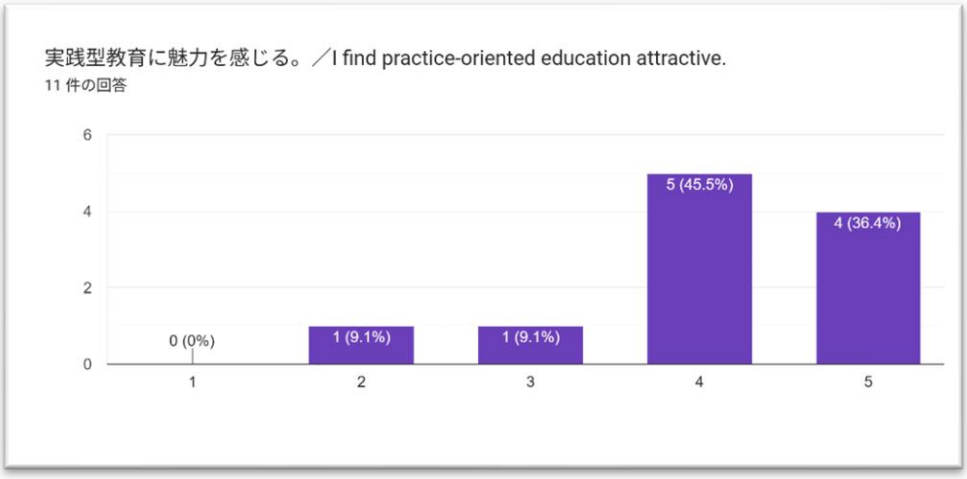




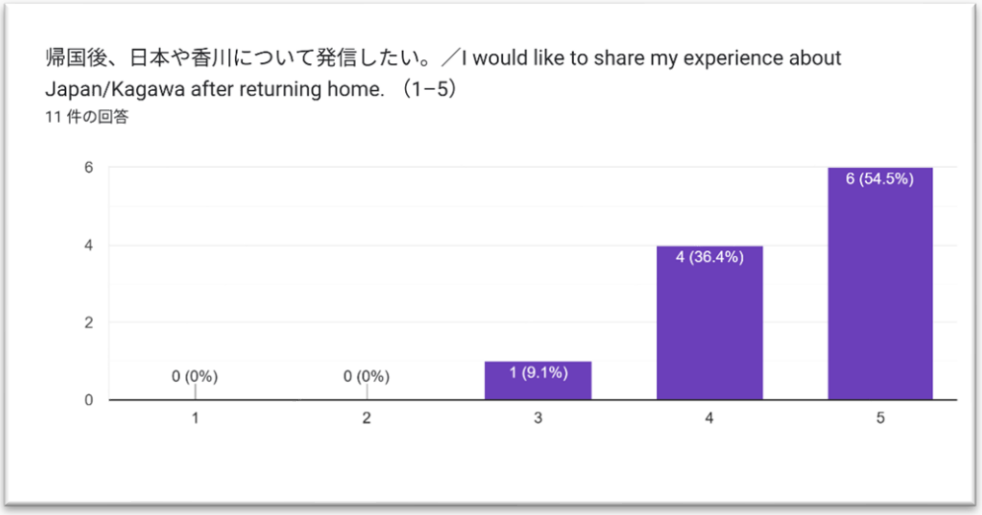




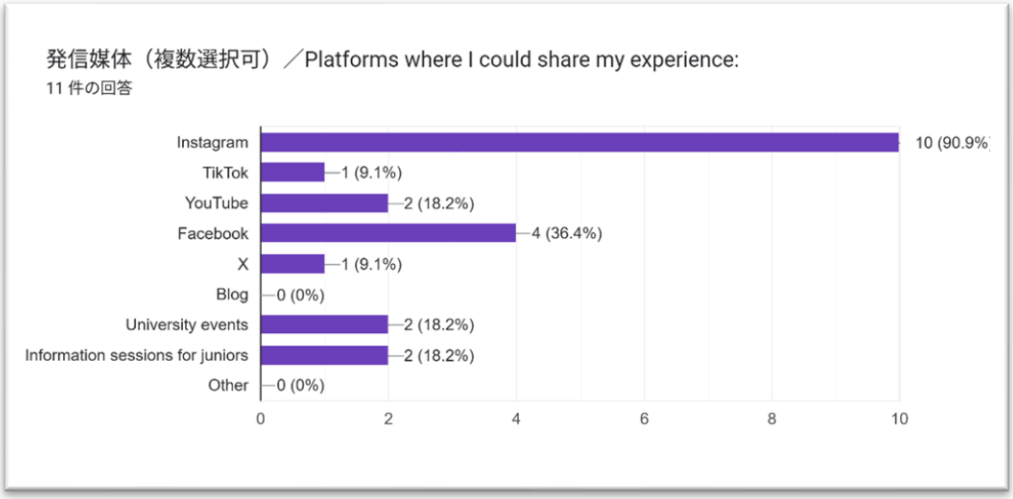
※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree　5＝強くそう思う/Strongly agree）



※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree　5＝強くそう思う/Strongly agree）



※リニアスケール 1-5 による質問（1＝まったくそう思わない/Strongly disagree　5＝強くそう思う/Strongly agree）



② 就職・定着支援:

香川県への留学生の県内就職・定着のためのｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ制度の構築

目　的:
R5年度までの「文部科学省専修学校留学生の学びの支援推進事業」の取り組みで、本連合加盟校の留学生の就労ビザの取得率は100%を達成した（日本で就労が可能な分野に限る）。しかしながら、香川県内企業への就職率と定着率の低さが課題として残っている。県内就職率の低さの原因は大都市への流出。定着率の低さはミスマッチや双方の理解不足、そして留学生の日本語力不足から起きる仕事に対する不安等があげられる。インターンシップを導入することで留学生には香川県内企業のことを知ってもらい、働きやすさを感じてもらうことで香川県内就職を促進する。ミスマッチを防ぎ、更に日本語教育支援を行うことで業務に対する不安を解消し、定着率を上昇させることを目的とする。

事業予定:
①留学生の定着率や、新規採用・インターンシップに受入れに関する企業意識調査の実施。
②学生向け説明会、受け入れ企業向け説明会、日本式就職活動セミナーの実施。
③日本語教育支援プログラムの開発。
④インターンシップ後、企業、学生双方に対するアンケートを実施。

成果指標:
2年目（R7年度）:インターンシップ受入数目標:20名、R6年度就職者定着率95%
3年目（R8年度）:インターンシップ受入数目標:30名、R6年度就職者定着率90%、R7年度就職者定着率95%
4年目（R9年度）:インターンシップ受入数目標:50名、R6年度就職者定着率85%、R7年度就職者定着率90%、R8年度就職者定着率95%

令和7年度実績

① 外国人留学生就労支援セミナー2025

香川県内留学生の受け入れを促進するためのセミナーを実施した。

日　時:令和 7 年 11 月 20 日（木）13:30～
場　所:せとうち観光専門職短期大学内　穴吹学園ホール
共　催:高松商工会議所、香川労働局、穴吹カレッジ「香川留学生支援会」
後　援:香川県、高松市、㈱百十四銀行
議　事:第1部　第13回優秀留学生表彰式（前期）
※参加:38企業・団体　65名
第2部　講演「初めてでも安心、採用活動から育成定着までのポイント」
※41企業・団体　68名
講師　ジェトロ神戸貿易情報センター　高度外国人材活躍推進コーディネーター
清水　一憲（しみず　かずのり）様

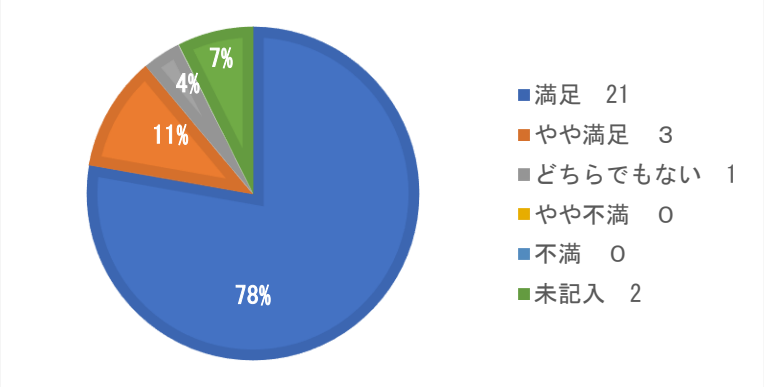
第3部　企業面談会、香川県行政書士会無料相談会

※参加企業21社、参加留学生約90名

別添：成果物「外国人留学生就労支援セミナー2025　告知チラシ」

外国人留学生就労支援セミナーに関するアンケート結果（27 件）

Q1.　優秀留学生表彰式は、どの程度ご満足いただけたでしょうか



Q2.　ご意見等

・がんばってください。

・すばらしい発表でした。外国人の方に対するこれまでの考えを改める必要があると感じました。

・くわしい選考基準が知りたい。

・皆さまとても素晴らしい発表でした。

・学生の方の前向きな話を聞けて、非常によかったです。

・プレゼンの能力と準備されている資料に感動しました。

・留学生の日本で働く意欲や将来性を改めて感じる事ができた。

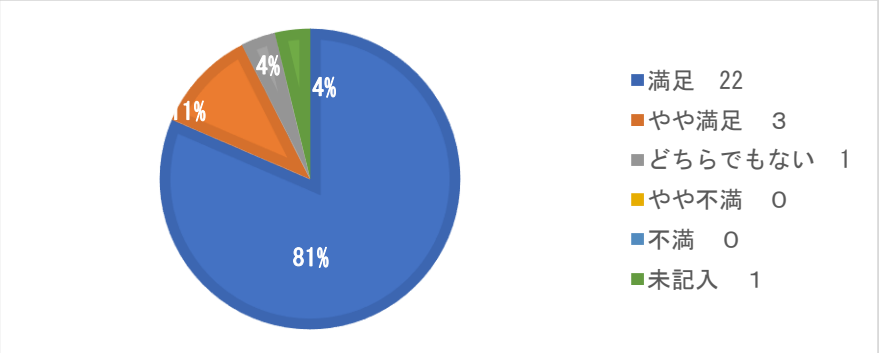
・学生様の意欲が伝わってきました。

・皆さんの高い能力とやる気に圧倒されました。

・皆さん日本語がお上手でした。パワポも本人が作られたのであればすごいと思います。

・日本語上手でした。

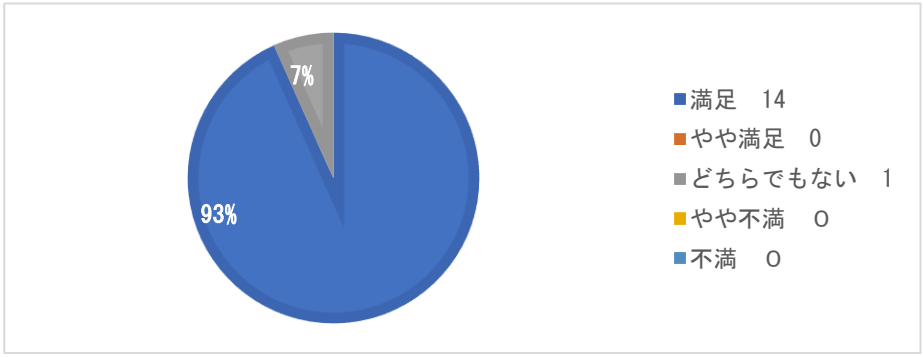
Q3.　講演「初めてでも安心、採用活動から育成定着までのポイント」は、どの程度ご満足いただけたでしょうか



Q4. ご意見等

・がんばってください。
・社内ですべきことの整理ができました。
・とても分かりやすかったです。
・とても分かりやすい説明でした。
・受入体制の導入が少しイメージできました。
・不安な点について確認できました。
・今までの経験の裏付となる知識を得ることができました。チェックリスト有難いです。
N1の問題初めて見ました。コレは難しい。盛大にほめたたえようと思います。

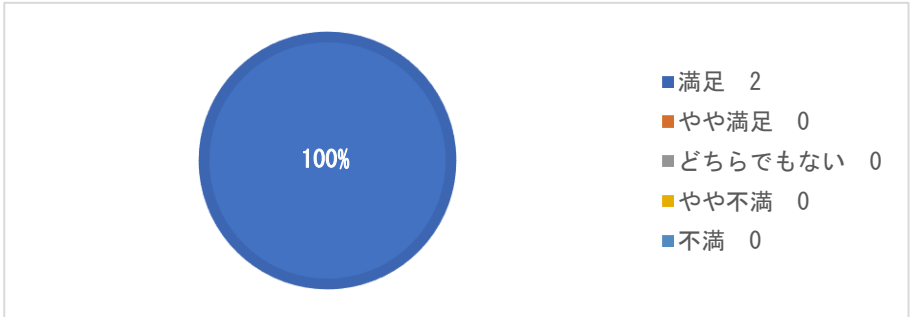
Q5. 留学生企業面談会にご参加された企業様のみご回答。どの程度満足いただけたでしょうか（15 件）



Q6. ご意見等

・ありがとうございます。
・たくさんの学生様とお話できました。ありがとうございます。
・楽しく面談させて頂きました。前向きな学生さんが多かったです。
・学生様の発表や面談時の熱心さに感銘を受けました。ありがとうございました。
・対話があり学生がどの程度コミュニケーションが取れるかどう考えられているかよく分かる機会であった。

Q7. 香川県行政書士会無料相談会にご相談された企業様のみご回答（2件）



Q8. 香川県行政書士会無料についてご意見等

無し

Q9. その他ご質問やご要望、ご意見等

・本日もありがとうございました。

・留学生と接点がもてる貴重な機会だと思います。

・たいへんためになりました！ありがとうございました！



第 1 部「優秀留学生表彰式」



第 2 部　清水氏講演



第 3 部　企業面談会



四国新聞　2025年（令和7年）11月21日（金曜日）　総合　（12）

留学生を企業の力に

高松で就労支援セミナー

県専修各種学校連

県内企業にグローバル人材の活用を促す「外国人留学生就労支援セミナー」が20日、高松市屋島西町の穴吹学園ホールで開かれた。国内の人手不足が顕在化する中、県内41社・団体の人事担当者らが参加。外国人の採用を検討する企業はプースを構えて留学生と直接面談したほか、採用活動から育成定着までのポイントを解説する講演を通じ、外国人からも選ばれる企業になる方策を探った。

人事担当者と直接面談

セミナーは、県専修学校各種学校連合会（大平康喜会長）が文部科学省の「専修学校の国際化推進事業」を受託して2018年から開催。今年から穴吹カレッジグループの留学生が企業を順次訪問する形式で実施。

加えて、高松商工会議所と香川労働局が共催団体になり、内容も拡充した。

留学生との面談では22社がブースを構え、穴吹学園の就職を希望するベトナム出身のホアン・グエットさん（22）は「介護福祉士からコースを変更した。お客さんの立場で飲食料品の魅力を大切に伝えられる人になりたい」と目を輝かせた。

同支援会の会長も務める産業機器メーカー・サンテック（綾川町）の青木大海社長は「外国人材に選ばれなくなると厳しい状況に追い込まれる。共に成長するスタンス、日本化を押し付けないことが大切」と呼びかけ。インバウンド（訪日客）向けの販売体制を強化している西村ジョイ（高松市）の人事担当者は「雇い入れがどんどん難しくなっているが、留学生から日本で働きたいという意欲が感じられて心強かった」と振り返った。

スリランカ出身のマガラゲ・ジャナニ・ウマヤンガニ・パレラさん（21）は「以前は大阪に住んでいたが、香川は自然が多く、栗林公園なども大好き。ぜひ、ここで働き続けられれば」と熱心に情報を収集した。

企業の人事担当者と面談する外国人留学生ら＝高松市屋島西町

Wide ワイド KAGAWA

『四国新聞』令和7年 11 月 21 日付（朝刊）

② 香川県内専門学校在籍留学生のインターンシップ実施

香川県内の専門学校である穴吹ビジネスカレッジ国際ビジネス学科1年生の留学生 12 名および穴吹コンピュータカレッジ国際 IT エンジニア学科1年生の留学生 11 名、計 23 名が、令和 8 年 2 月下旬より香川県内企業 9 社においてインターンシップを実施する。

当初は卒業年次生の夏季休業期間を活用して実施する計画であったが、就職活動時期との重複および授業カリキュラムとの調整が困難であることから、実施時期を再検討した。その結果、1年次修了直前のタイミングで実施することが、学生の就職意識を早期に醸成し、進級後のキャリア形成に資するものと判断し、当該時期に実施することとした。

年度末の実施であることから、受入れに慎重な企業も見られたが、卒業年次に進級する前段階で実施することにより、学生の県内就職への関心を高める効果が期待できることを踏まえ、実施を決定した。

対象学科をビジネス系および IT 系に限定した理由は、①受入企業の新規開拓が容易ではなく、受入体制を段階的に整備する必要があったこと、②両学科において留学生数が増加しており、県内企業への就職促進が喫緊の課題となっていたこと、の2点によるものである。

なお、受入企業の確保については引き続き調整を行っており、本報告書作成時点においても一部企業との最終調整を継続している状況である。このため、今回実施するインターンシップの詳細な実施結果および効果検証については、次年度の実績報告において改めて報告する予定である。

【前年度実績】

令和6年度本事業において、穴吹コンピュータカレッジ国際 IT エンジニア学科2年生であった留学生1名（学生 No.R601）が香川県内企業においてインターンシップを実施した。

当該留学生は、令和7年度より同インターンシップ受入企業に就職し、現在も継続して勤務している。

【インターンシップ学生一覧】

学生No.	出身	JLPT（インターンシップ時）	専門学校学科分野	インターンシップ実施時期	インターンシップ期間	インターンシップ受入企業	就職時期	現状
学生R601	インドネシア	N1	IT系	2025年1月	3日	R601社（機械製造業）	2025年4月	インターンシップを実施した企業で勤務中
学生R701	スリランカ	N2	ビジネス系	2026年2月	3日	R701社（ホテル業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R702	ベトナム	N3	ビジネス系	2026年2月	2日	R702社（不動産業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R703	バングラデシュ	N3	ビジネス系	2026年2月	3日	R703社（小売業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R704	ベトナム	N3	ビジネス系	2026年2月	3日	R703社（小売業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R705	ネパール	N4	IT系	2026年2月	1日	R704社（情報・通信業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R706	ベトナム	N2	IT系	2026年2月	1日	R704社（情報・通信業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R707	ネパール	N5	IT系	2026年3月	1日	R705社（機械製造業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R708	ネパール	N4	IT系	2026年3月	1日	R705社（機械製造業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R709	ベトナム	N3	ビジネス系	2026年3月	3日	R706社（衣料品製造業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R710	ベトナム	N4	IT系	2026年3月	3日	R707社（建設業・設計業務）	2027年4月	専門学校在学中
学生R711	ミャンマー	N1	ビジネス系	2026年2月	4日	R708社（人材派遣業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R712	ベトナム	N2	ビジネス系	2026年2月	4日	R708社（人材派遣業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R713	ネパール	N3	ビジネス系	2026年2月	4日	R708社（人材派遣業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R714	ネパール	N3	ビジネス系	2026年2月	4日	R708社（人材派遣業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R715	ネパール	N4	ビジネス系	2026年2月	4日	R708社（人材派遣業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R716	ネパール	N4	ビジネス系	2026年2月	4日	R708社（人材派遣業）	2027年4月	専門学校在学中
学生R717	ネパール	N4	ビジネス系	2026年2月	4日	R708社（人材派遣業）	2027年4月	専門学校在学中

③ 入学前：

ターゲット分野の留学希望者を増やすための教育交流・PRビデオの制作

目的：

教育環境や就労環境、職業倫理等は国によって大きく異なり、日本に対して誤った認識を持っている留学生達も多い。例えば、介護保険制度が導入されていない国では「介護」という認識自体がほとんど無く、そういった国では「介護」と聞くと日本の介護とは全く違ったイメージを抱く。また、これまでの事業で交流機会を持った教育機関の中には、実務経験が皆無な教員が職業高校で教鞭を取っているようなケースがあった。海外の学生達がこういった環境の中で日本の職業教育や就労について正しく理解することは難しい。これらの点を解決するために、実務経験豊富な日本の教育機関の教員を海外に派遣し、体験授業や職業理解のための説明会を実施する。また、日本での実際の就業の様子や、

それに至るまでの学びを紹介するPRビデオを制作し、日本への留学・就労希望者の拡大を狙う。

事業予定:
①教育連携校内での体験授業・職業説明会の実施(取組④と連携)
②日本の学び・職業PRビデオの制作
③香川県に招聘し、実際の就労環境や学校の教育環境を案内する。(取組①と連動)

成果指標:
R7年度　提携校内で体験授業・職業説明会の実施(3校)、PRビデオの制作(ホテル・観光分野)
R8年度　提携校内で体験授業・職業説明会の実施(4校)、PRビデオの制作(電気工事士)
R9年度　提携校内で体験授業・職業説明会の実施(5校)、PRビデオの制作(介護福祉士)

(750文字以内)

令和7年度実績

香川県内のホテルに勤務する、県内の日本語学校および専門学校を卒業した留学生2名に焦点を当てた「香川留学」紹介動画を制作した。

本動画は、日本においてキャリアを重ねている卒業生の姿を紹介することにより、海外の留学希望者が抱える就職や将来に対する不安の解消を図るものである。また、外国人材の業務内容に関する先入観や誤解の払拭を図るとともに、高度外国人材として求められる役割や業務内容への理解を促進する内容とした。さらに、家族や友人との日常の様子など私生活の一面も紹介することで、日本での生活に対する具体的なイメージを醸成し、留学への期待感を高めることを目的としている。取材を通じて、当該卒業生が着実にキャリアを積み重ねてきたことが確認できた。また、勤務先からの信頼も厚く、担当業務はマネジメント領域にまで及んでいることが明らかとなった。近年は、特定技能制度等により多様な在留資格で日本における就労が可能となっているが、本動画を通じて、留学によって得られる能力や経験、それが将来のキャリア形成にどのように寄与するのかという点を重点的に発信していく。

【制作概要】
タイトル:かがわ留学のススメVol.4.2　ホテル・観光分野
時　　間:13:03
本　　数:2本(日本語版、英語版)
公　　開:
日本語版　https://youtu.be/rAvMbdwWUR4?si=tr8--o5v6pXmi-gr
英語版　　https://youtu.be/TOvDj8pYCVw?si=me0fS_l06BKgvqQo

④ 入学前：香川県専修学校留学生支援事業の継続に向けた取り組み

【目的】
これまでの留学生受入推進の事業を通じ、資産となった関係各国・地域との関係を維持・発展させる。新規ターゲット国では継続ターゲット国と同様に香川の行政機関、経済界と連携しながら留学生の受け入れ、教育、定着までを目指す。長期的な視点に立ち、人口減少社会を見据えて、継続的な取り組みができる体制づくりを目指す。

【事業予定】
継続ターゲット国についてはこれまで取り組んできた事業の中で出てきた課題について引き続き取り組む。これまでの事業を踏まえ、現地の学生や教育機関には学生の経済状況や希望進路に合わせて、なるべく多様な「学び・就労」に関する情報提供を行えるようにする。新規ターゲット国では継続ターゲット国と同様に海外教育機関と密接な教育連携体制を構築し、香川留学希望者を増やしていく。

【成果指標】
新規提携校（R7～R9年度）：ベトナム4校、スリランカ5校、フィリピン5校

【新規提携校からの留学生受入目標数】
R7年度：5名、R8年度：10名、R9年度：15名

【新規提携校での留学説明会参加者数】
R7年度：100名、R8年度：150名、R9年度：200名

令和7年度実績

① 在外教育機関との提携及び留学説明会の実施

（1）新規提携

以下の教育機関と新規に提携を結んだ。

・ベトナム　ダラットヤーシン大学

・タイ　コンケンウィタヤヨン学校

（2）留学説明会の実施

フィリピン、ラオス、タイにおいて留学説明会を実施した。

留学説明会 3 か国 7 会場にて実施、動員数約 1,400 名

フィリピンにおける留学説明会参加校のうち、LA FILIPINA NATIONAL HIGH SCHOOL から 3 名、TAGUM CITY NATIONAL HIGH SCHOOL から 3 名、TAGUM CITY NATIONAL COMPREHENSIVE HIGH SCHOOL から 3 名、計 9 名が留学に向けた手続きを開始した。今後、令和 8 年度入学生として香川県内の専門学校において受入れが実現できるよう、引き続き手続きを進めていく。

別添　成果物「海外活動報告 2025_フィリピン」、成果物「海外活動報告 2025_ベトナム、タイ、ラオス」

【ベトナム　ダラットヤーシン大学との提携書（日本語版） 2026 年 1 月 8 日付】

日本国香川県専修学校各種学校連合会

と

ベトナム国、ラムドン省、ダラットヤーシン大学

との教育的交流及び協力に関する協定

日本国香川県専修学校各種学校連合会とダラットヤーシン大学（以下、「両当事者」という。）は、日本国香川県とダラットヤーシン大学の文化交流を進展させるとともに、当事者間の教育的交流及び協力がすべての関係者にとって有益であると認め、ここにそのような交流及び協力を推進する意思のあることを確認する。

両当事者は、意思の一般的表明として、以下のとおり行動することに合意する。

1. 両当事者は、下記の諸活動を推進する。
   （1）学生・教職員及び役員の相互交流を推進する。
   （2）教育の改善を進めるための相互努力をする。
   （3）卒業後、日本留学希望のあった場合は、香川県専修学校各種学校連合会が当該教育機関への情報提供等により、手続きを円滑に進められるよう支援する。
   （4）両当事者が合意するその他の活動
2. 上記の活動については、両当事者の担当者の間で協議し、情報交換の上、実施するものとする。
3. 上記の活動に係る費用については、ケースにより、両当事者が合意する。
4. この協定は、拘束力のある同意の締結ではなく、両地域の目的と意思を明確に記載したものである。
   （1）両当事者は、誠実に、親善と協力の精神に基づき、双方が提携し事項の履行に努めるものとする。
   （2）両当事者は、この協定の条項について解釈や義務の履行に関して生じる問題について、友好的に解決するよう努力しなければならない。
5. この協定は、両当事者の適切な代表者の署名によって直ちに発効し、両当事者いずれかによって終結されるまでその効力を維持するものとする。
6. この協定は、日本語・ベトナム語で4部作成し、双方2部を保管する。

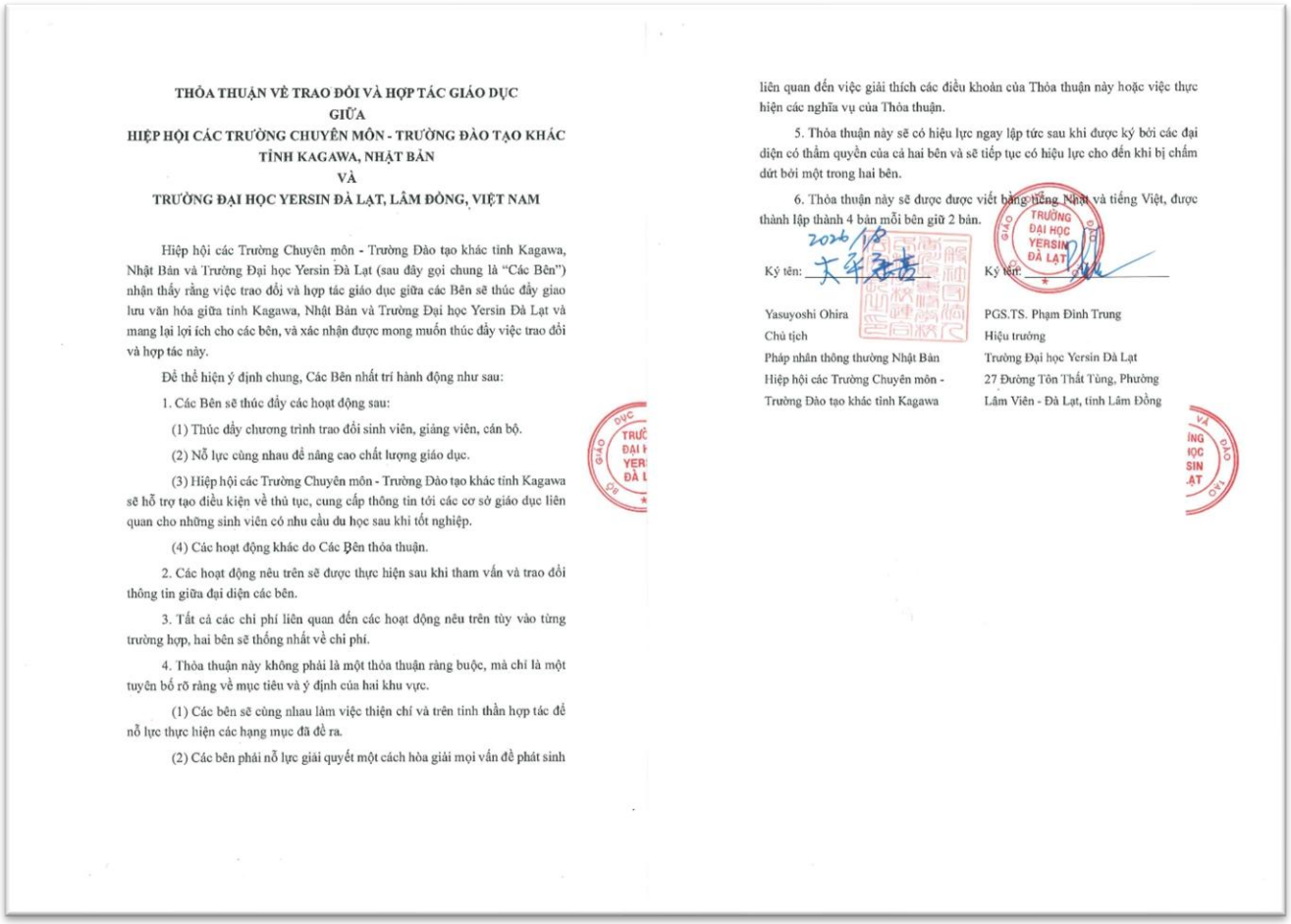
2026/1/8

大平　康喜
会長
日本国　一般社団法人
香川県専修学校各種学校連合会

TRƯỜNG ĐẠI HỌC YERSIN ĐÀ LẠT

PHẠM DINH TRUNG 博士
学長
ダラットヤーシン大学
ラムドン省、ラムビエンーダラット区トンタットトゥン通り２７

【ベトナム　ダラットヤーシン大学との提携書（ベトナム語版） 2026 年 1 月 8 日付】



THỎA THUẬN VỀ TRAO ĐỔI VÀ HỢP TÁC GIÁO DỤC
GIỮA
HIỆP HỘI CÁC TRƯỜNG CHUYÊN MÔN - TRƯỜNG ĐÀO TẠO KHÁC TỈNH KAGAWA, NHẬT BẢN
VÀ
TRƯỜNG ĐẠI HỌC YERSIN ĐÀ LẠT, LÂM ĐỒNG, VIỆT NAM

Hiệp hội các Trường Chuyên môn - Trường Đào tạo khác tỉnh Kagawa, Nhật Bản và Trường Đại học Yersin Đà Lạt (sau đây gọi chung là "Các Bên") nhận thấy rằng việc trao đổi và hợp tác giáo dục giữa các Bên sẽ thúc đẩy giao lưu văn hóa giữa tỉnh Kagawa, Nhật Bản và Trường Đại học Yersin Đà Lạt và mang lại lợi ích cho các bên, và xác nhận được mong muốn thúc đẩy việc trao đổi và hợp tác này.

Để thể hiện ý định chung, Các Bên nhất trí hành động như sau:

1. Các Bên sẽ thúc đẩy các hoạt động sau:

(1) Thúc đẩy chương trình trao đổi sinh viên, giảng viên, cán bộ.

(2) Nỗ lực cùng nhau để nâng cao chất lượng giáo dục.

(3) Hiệp hội các Trường Chuyên môn - Trường Đào tạo khác tỉnh Kagawa sẽ hỗ trợ tạo điều kiện về thủ tục, cung cấp thông tin tới các cơ sở giáo dục liên quan cho những sinh viên có nhu cầu du học sau khi tốt nghiệp.

(4) Các hoạt động khác do Các Bên thỏa thuận.

2. Các hoạt động nêu trên sẽ được thực hiện sau khi tham vấn và trao đổi thông tin giữa đại diện các bên.

3. Tất cả các chi phí liên quan đến các hoạt động nêu trên tùy vào từng trường hợp, hai bên sẽ thống nhất về chi phí.

4. Thỏa thuận này không phải là một thỏa thuận ràng buộc, mà chỉ là một tuyên bố rõ ràng về mục tiêu và ý định của hai khu vực.

(1) Các bên sẽ cùng nhau làm việc thiện chí và trên tinh thần hợp tác để nỗ lực thực hiện các hạng mục đã đề ra.

(2) Các bên phải nỗ lực giải quyết một cách hòa giải mọi vấn đề phát sinh liên quan đến việc giải thích các điều khoản của Thỏa thuận này hoặc việc thực hiện các nghĩa vụ của Thỏa thuận.

5. Thỏa thuận này sẽ có hiệu lực ngay lập tức sau khi được ký bởi các đại diện có thẩm quyền của cả hai bên và sẽ tiếp tục có hiệu lực cho đến khi bị chấm dứt bởi một trong hai bên.

6. Thỏa thuận này sẽ được được viết bằng tiếng Nhật và tiếng Việt, được thành lập thành 4 bản mỗi bên giữ 2 bản.

2026/1/8

Ký tên: 大平泰浩

Yasuyoshi Ohira
Chủ tịch
Pháp nhân thông thường Nhật Bản
Hiệp hội các Trường Chuyên môn - Trường Đào tạo khác tỉnh Kagawa

TRƯỜNG ĐẠI HỌC YERSIN ĐÀ LẠT

Ký tên:

PGS.TS. Phạm Đình Trung
Hiệu trưởng
Trường Đại học Yersin Đà Lạt
27 Đường Tôn Thất Tùng, Phường Lâm Viên - Đà Lạt, tỉnh Lâm Đồng

【タイ　コンケンウィタヤヨン学校との提携書（日本語版　2026 年 1 月 14 日）】

日本国香川県専修学校各種学校連合会とタイ国コンケンウィタヤヨン学校との教育的交流及び協力に関する協定

日本国香川県専修学校各種学校連合会とコンケンウィタヤヨン学校（以下、「両当事者」という。）は、日本国香川県とタイ国コンケン県の文化交流を進展させるとともに、当事者間の教育的交流及び協力がすべての関係者にとって有益であると認め、ここにそのような交流及び協力を推進する意思のあることを確認する。

両当事者は、意思の一般的表明として、以下のとおり行動することに合意する。

1. 両当事者は、下記の諸活動を推進する。
   （1）学生・教職員及び役員の相互交流を推進する。
   （2）教育の改善を進めるための相互努力をする。
   （3）相互の留学希望のあった場合は、香川県専修学校各種学校連合会が、当該教育機関への情報提供等により、手続きを円滑に進められるよう支援する。
   （4）両当事者が合意するその他の活動
2. 上記の活動については、両当事者の担当者の間で協議し、情報交換の上、実施するものとする。
3. 上記の活動に係る費用については、すべて受益者の負担とする。
4. この協定は、拘束力のある同意の締結ではなく、両地域の目的と意思を明確に記載したものである。
   （1）両当事者は、誠実に、親善と協力の精神に基づき、双方が提携し事項の履行に努めるものとする。
   （2）両当事者は、この協定の条項について解釈や義務の履行に関して生じる問題について、友好的に解決するよう努力しなければならない。
5. この協定は、両当事者の適切な代表者の署名によって直ちに発効し、両当事者いずれかによって終結されるまでその効力を維持するものとする。
6. この協定は、日本語・タイ語で2部作成し、双方1部を保管する。

大平　康喜
会長
日本国　一般社団法人
香川県専修学校各種学校連合会

チュリーポン　ナーラウ
校長職務代理者　（副校長）
タイ　コンケンウィタヤヨン学校
タイ基礎教育委員会　コンケン県

説明会実施概要

開催日	開催国	開催場所	学校種類	動員数
令和 7 年 11 月 13 日	フィリピン	LA FILIPINA NATIONAL HIGH SCHOOL	国立高校	440 名
令和 7 年 11 月 13 日	フィリピン	TAGUM CITY NATIONAL HIGH SCHOOL	国立高校	400 名
令和 7 年 11 月 14 日	フィリピン	TAGUM CITY NATIONAL COMPREHENSIVE HIGH SCHOOL	国立高校	200 名
令和 7 年 11 月 14 日	フィリピン	MAX MIRAFUENTES ACADEMY	私立高校	160 名
令和 7 年 11 月 15 日	フィリピン	OHAYO JAPANESE TRAINING CENTER, INC.	私立日本語学校	65 名
令和 7 年 12 月 3 日	ラオス	ラオス国立大学	国立大学	21 名
令和 7 年 12 月 4 日	タイ	コンケン・ウィッタヤヨン校	公立中等学校	110 名

② 「香川県における専門学校留学生の戦略的受入・定着に向けた体制整備事業」 実施委員会の開催

令和 7 年 9 月に第 1 回、令和 8 年 2 月に第 2 回の実施委員会を開催した。

別添：成果物

・「第 1 回実施委員会　議事録」

・「第 2 回実施委員会　議事録」

③ 香川留学ポータルサイトの更新

本事業の取組内容の周知および情報発信の充実を目的として、香川留学ポータルサイト「香川留学支援ナビ」を更新した。

【香川留学支援ナビ】

https://www.kagawa-studyabroad.com/

【更新箇所一覧】

① 情報公開ページ

https://www.kagawa-studyabroad.com/information

② 留学のすすめページ（日本語）

https://www.kagawa-studyabroad.com/recommend/

留学のすすめ　Vol.4.2 ページ（日本語）

https://www.kagawa-studyabroad.com/working_v4_2/

③ 留学のすすめページ（英語）

https://www.kagawa-studyabroad.com/recommend/en.html

留学のすすめ　Vol.4.2 ページ（英語）

https://www.kagawa-studyabroad.com/working_v4_2/en/

（4）上記（3）の取組に付随して実施した取組（実態調査を含む。）

（7）事業実施によって達成する成果及び測定指標

KPI（成果測定指標）		単位	事業開始前	令和6年度	令和7年度	令和8年度
海外学生ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ生の受け入れ数	目標値	人	0	10	20	30
	実績値	人	0	1	10	
	達成度	%	－	10	50	
（上記 KPI の測定手法） インターンシップを修了した学生数を受入れ企業と送り出し教育機関の両方に確認する。						

KPI（成果測定指標）		単位	事業開始前	令和6年度	令和7年度	令和8年度
海外からの留学生獲得数（海外学生ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ修了者からの）	目標値	人	0	0	3	6
	実績値	人	0	0	0	
	達成度	%	－	－	0	
（上記 KPI の測定手法） 海外から専門学校（日本語学科を含む）に入学した学生数を受入れ教育機関に確認する。						

KPI（成果測定指標）		単位	事業開始前	令和6年度	令和7年度	令和8年度
取組②　国内留学生の就職後の定着率	目標値	%	－	－	95	90
	実績値	%	－	－	100	
	達成度	%	－	－	105	
（上記 KPI の測定手法） インターンシップを実施した上で就職した留学生が、退職せず継続して勤務しているかどうかを受け入れ企業に確認する。						

KPI（成果測定指標）		単位	事業開始前	令和6年度	令和7年度	令和8年度
取組③　提携校内での体験授業の実施	目標値	校	0	2	3	4
	実績値	校	0	0	0	
	達成度	%	－	0	0	
（上記 KPI の測定手法） 海外の提携校で体験授業を実施した回数						

KPI（成果測定指標）		単位	事業開始前	令和6年度	令和7年度	令和8年度
取組④　新規提携校からの留学生獲得	目標値	人	0	0	5	10
	実績値	人	0	0	0	
	達成度	%	－	－	0	
（上記 KPI の測定手法） 海外から専門学校（日本語学科を含む）に入学した学生数を受入れ教育機関に確認する。						

※「単位」欄には KPI として設定した指標に関する測定単位（「個」、「人」、「%」など）
※「達成度」欄については、当該年度の目標値に対する実績値の割合を算出して記載すること。

（8）事業終了後に実施予定の取組及び成果の活用方針・手法

本事業において構築した海外インターンシップの運用方法、県内就職・定着支援の取組、教育交流プログラム、PRビデオ等の成果については、事業終了後も本連合会が主体となり継続的に活用するとともに、実施を通じて得られた知見を整理し、今後の取組に反映させる。

1．成果物の活用方針

（1）海外インターンシップ制度

海外教育機関との調整手法、学生選考の観点、受入企業との役割分担、実施上の課題および改善点等については、実施報告書の中で体系的に整理し、加盟校および関係企業が参照可能な形で取りまとめる。事業終了後も本連合会が調整機能を担い、海外教育機関との連携を継続することで、継続的な人材交流の実施を図る。また、実施データや事例を蓄積し、将来的な制度化・標準化の可能性を検討する。

（2）県内就職・定着支援の取組

企業向け説明内容、受入事例、学生・企業双方のヒアリング結果、定着状況データ等を整理し、報告書として取りまとめる。これらの成果は県内企業、関係団体および行政機関と共有し、外国人材受入れの参考資料として活用する。あわせて、定着率の推移や課題分析を継続的に行い、より効果的な支援体制の構築につなげる。

（3）教育交流プログラムおよびPRビデオ

制作したPRビデオは、海外提携校での留学説明会、オンライン説明会、香川留学ポータルサイト等において継続的に活用する。また、教育交流で得られた知見や現地での反応を整理し、今後の広報内容の改善に反映させる。これらの成果物は新規ターゲット国への展開時にも活用し、長期的な広報資産として位置付ける。

（4）海外提携ネットワーク

本事業を通じて拡充した提携校ネットワークについては、単発的な協定締結にとどめず、継続的な情報共有および教育交流を行う連携基盤として発展させる。具体的には、年次オンライン会議の実施、進学実績やインターンシップ実施状況の共有、教育内容や学生動向に関する意見交換を通じて、関係性の深化を図る。また、本ネットワークは本連合加盟校のみならず、県内の他教育機関や関心を有する企業・団体が参照・活用可能な形で情報を整理し、共有することを目指す。提携校情報、連携事例、留学説明会実績等については、ポータルサイトや報告書等を通じて公開し、地域全体で活用できる資産として位置付ける。さらに、企業に対しては海外提携校との接点を持つ機会を提供し、将来的なインターンシップ受入や採用連携につなげる可能性を検討する。これにより、教育機関―企業―海外教育機関を結ぶ三者連携型のネットワークへと発展させる。将来的には、複数国の提携校を横断した合同オンライン説明会や共同イベントの開催も視野に入れ、面的な広がりを持つ持続的な国際連携基盤の構築を目指す。